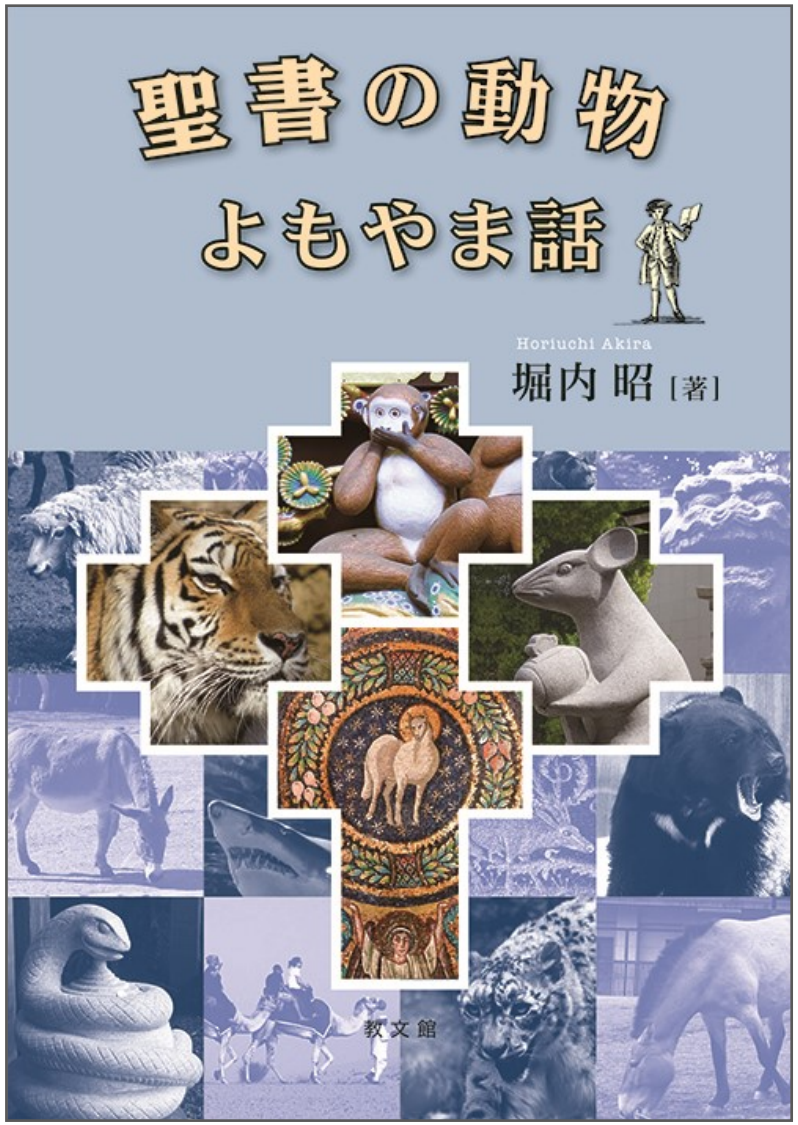

聖書の動物 よもやま話

堀内　昭　著

A5判・並製・270頁+口絵6頁・定価2,200円（本体2,000円＋税）
ISBN 978-4-7642-7465-5 C1016

食べ物として我が身を捧げたウサギはブッダの前世。
聖書で食べてはいけないとされた理由はなぜ？

聖書に出てくる 27種類の動物たちは、
仏教・神道、古典文学ではどんな風に登場するか？
暮らしの中での人間と動物との関わりを、科学者の視点も交えて紹介する
楽しいエッセイ。著者が集めた動物ゆかりの神社仏閣の貴重な資料も収録。

『聖書の植物よもやま話』（2019）に続く姉妹編。
この2冊があれば聖書の雑学博士になれる!?

◆堀内　昭（ほりうち　あきら）◆　理学博士。専門は有機化学・環境化学など。立教大学理学部教授を経て、現在立教大学名誉教授。認定NPO法人「ぶどうのいえ」理事長（2001～2016年。「ぶどうのいえ」とは、難病とたたかう子どもと家族のための滞在施設）。単著『聖書のかがく散歩』（聖公会出版，2012）。共著『化合物辞典』（朝倉書店,1997），『ステロイドの化学』（研成社，2010），『動物よもやま話――キリスト教、仏教、神道をめぐって』（聖公会出版、2015）ほか、総説・オリジナル論文110編余。